



テーマは「福島県のもも」



福島県はももの10a当たり収量が全国第1位

令和6年産ももの10a当たり収量は、1,890kgで主産県の中で最も高く、全国平均の1,190kgを大きく上回っています。

結果樹面積は、山梨県に次いで全国第2位の1,540haとなっています。山梨県と福島県の2県で全国の結果樹面積の5割を占めています。

また、収穫量は2万9,100t、出荷量が2万7,100tで、全国の収穫量、出荷量に占める割合は約3割となっており、ともに山梨県に次いで全国第2位となっています（表、図1）。

表 令和6年産 ももの収穫量上位6県（全国）

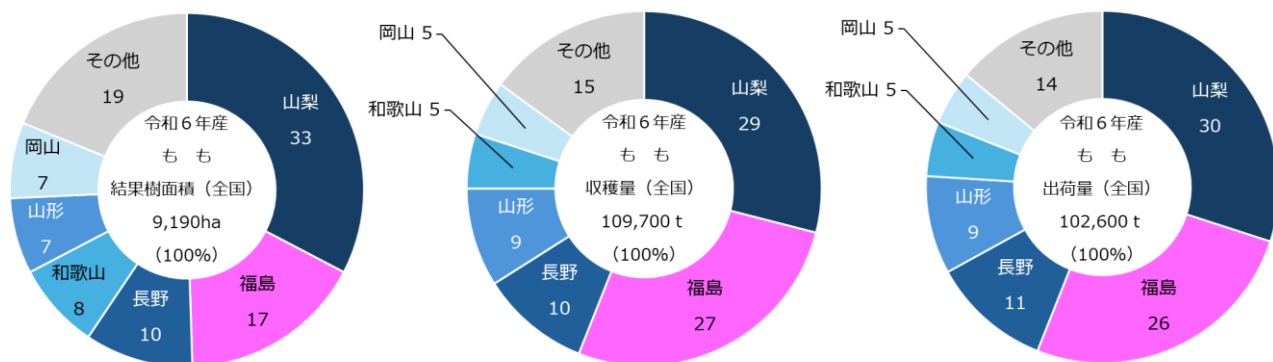
	結果樹面積 ha	10a当たり収量 kg	収穫量 t	出荷量 t
全 国	9,190	1,190	109,700	102,600
山梨県	3,060	1,030	31,500	30,300
福島県	1,540	1,890	29,100	27,100
長野県	889	1,280	11,400	10,800
山形県	641	1,610	10,300	9,460
和歌山県	690	831	5,730	5,530
岡山県	637	841	5,360	4,780

資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」をもとに東北農政局福島県拠点が作成（図1～5同じ）。

注1：令和6年産（概数値）は、令和2年（全国調査年）の栽培面積のおおむね8割を占めるまでの上位都道府県を調査の範囲とし、その範囲に該当しない都道府県であっても、果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としており、全国値については主産県の調査結果を基に推計した。

2：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が当該年産の果実を収穫するために結果させた面積をいう。

図1 令和6年産 ももの結果樹面積・収穫量及び出荷量（全国）

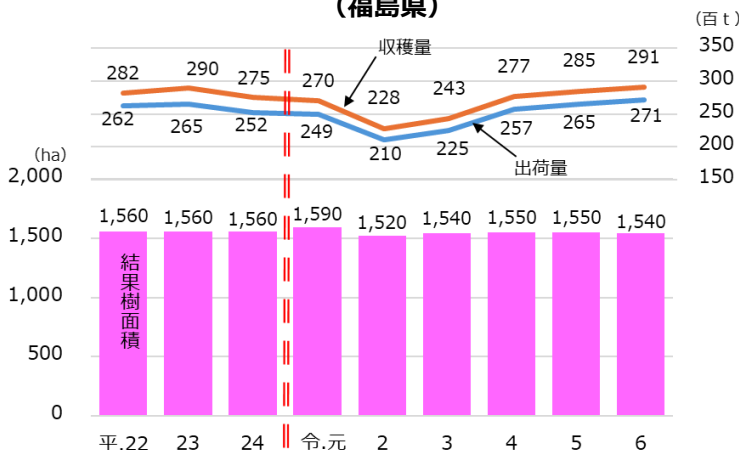


注：統計値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下、同じ）。

結果樹面積は、高齢化等により栽培中止や規模縮小はあるものの、東日本大震災以降に新植、改植したものが結果樹齢に達したことから横ばいで推移しています。

また、令和6年産の収穫量、出荷量は平成22年産に比べて、ともに900t増加しました。令和2年産は、せん孔細菌病の感染拡大により、収穫量、出荷量ともに減少しましたが、その後は、10a当たり収量の増加により、収穫量、出荷量ともに増加傾向で推移しています（図2）。

図2 ももの結果樹面積・収穫量及び出荷量の推移（福島県）





福島県と山梨県の結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移について

結果樹面積をみると、平成22年以降、福島県は20ha（1.3％）の減少とほぼ横ばいで推移していますが、山梨県は220ha（6.7％）減少しています。また、福島県と山梨県の差は、平成22年に1,720haあったものが、令和6年では1,520haとなっています（図3）。

10a当たり収量をみると、福島県は、令和2年まで減少傾向で推移しましたが、その後は増加に転じ、増加傾向で推移しています。山梨県は、令和元年にせん孔細菌病等の発生により減少し、その後は1,000kg前後で推移しています。令和6年の10a当たり収量は、福島県が1,890kg、山梨県が1,030kgとなっており、福島県が860kg上回っています（図4）。

収穫量をみると、福島県は、平成22年以降、概ね2万t台後半で推移し、令和6年は2万9,100tとなっています。山梨県は、平成22年の4万7,900tから、10a当たり収量等の減少により、令和元年には3万700tとなり、その後、3万t台で推移し、令和6年は3万1,500tとなっています。福島県と山梨県の差は、平成22年に1万9,700tあったものが、令和6年では2,400tとなっています（図5）。

図3 結果樹面積の推移（福島県・山梨県）

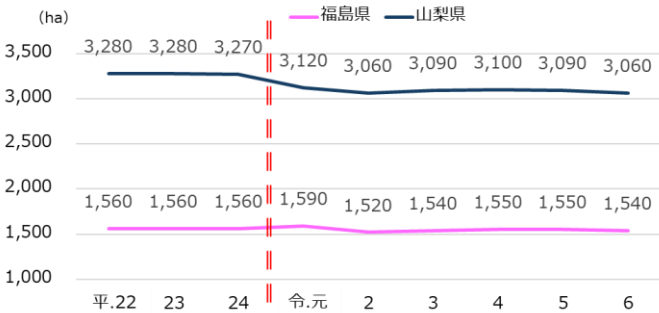


図4 10a当たり収量の推移（福島県・山梨県）

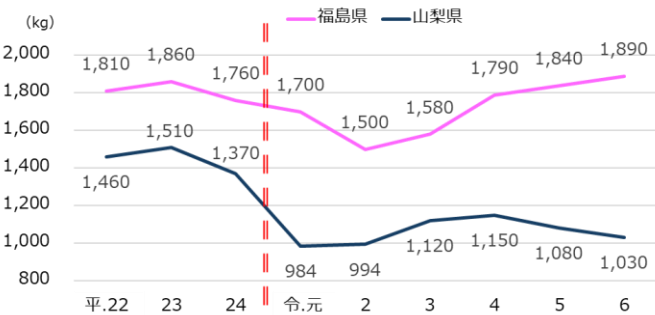
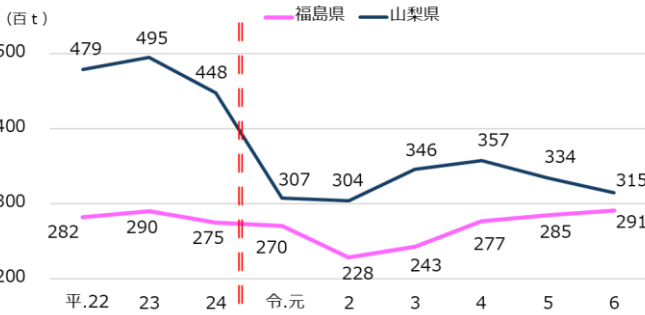


図5 収穫量の推移（福島県・山梨県）



青果物卸売市場調査結果について

令和5年青果物卸売市場調査から福島県産ももの主要消費地域別の卸売数量をみると、東京都が最も多く全体の約5割を占めています。次いで大阪府、札幌市、仙台市、福岡市、横浜市の順となっており、全国各地で福島県産のもものが販売されています（図6）。

東京都の卸売数量を月別にみると、6月の卸売数量1,519tのうち山梨県産が約9割を占め、7月の卸売数量5,754tのうち山梨県産は約6割、福島県産が約3割を占めており、6月、7月は山梨県産の占める割合が高くなっています。

福島県産は8月の卸売数量4,097tのうち約5割、9月の卸売数量1,169tのうち約4割と、8月、9月の割合が高くなっています（図7）。

図6 福島県産ももの主要消費地域別卸売数量の構成（令和5年）
（全体＝100％）



資料：農林水産省「青果物卸売市場調査報告（産地別）」をもとに東北農政局福島県拠点が作成（図6～9同じ）。

図7 主要消費地域（東京都）における
月別産地別卸売数量（令和5年6月～9月）

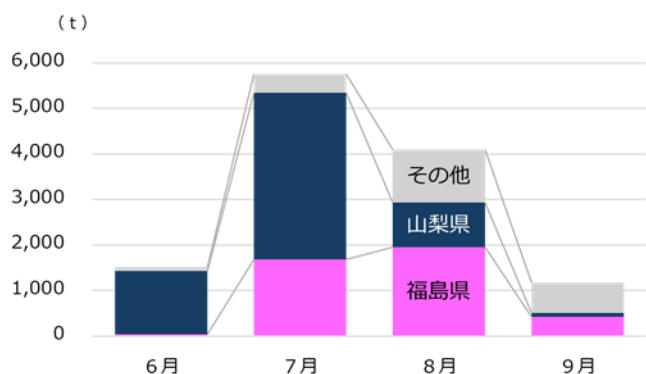
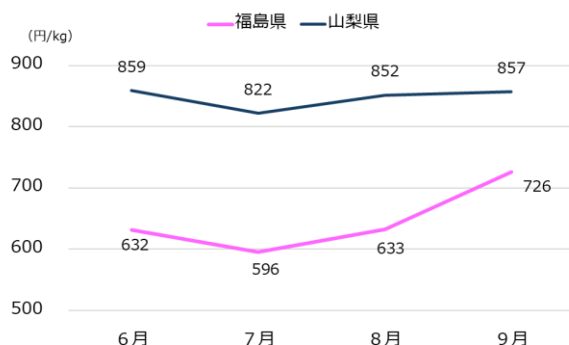


図8 主要消費地域（東京都）における
月別産地別卸売価格（令和5年6月～9月）



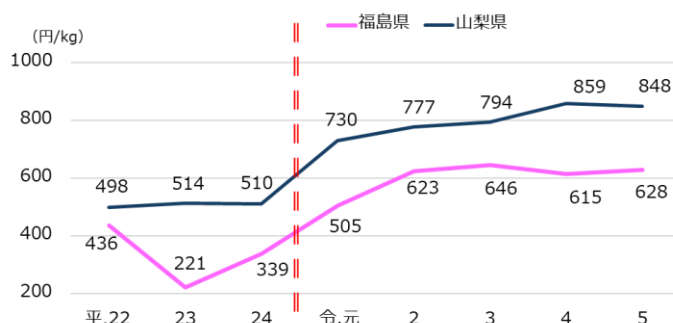
令和5年の福島県産の卸売価格は、6月の632円から卸売数量が多くなる7月は596円と600円を下回ったものの、8月は633円、9月は726円と価格が上昇しています。一方、山梨県産は6月から9月にかけて800円台で推移しており、価格が安定しています（図8）。

年間の卸売平均価格をみると、平成22年は福島県産と山梨県産との価格差は62円だったものが、平成23年に福島県産の価格が大きく低下し、価格差は293円に拡大しました。

福島県産は平成24年から価格が徐々に回復し、令和元年には500円を超え、令和2年から600円台前半で推移しています。

一方、山梨県産は平成23年に500円を超え、令和元年には700円、令和4年には800円を超えました。令和5年は848円で、福島県産を220円上回っています（図9）。

図9 主要消費地域（東京都）における卸売価格
（福島県・山梨県）



ももの農業産出額について

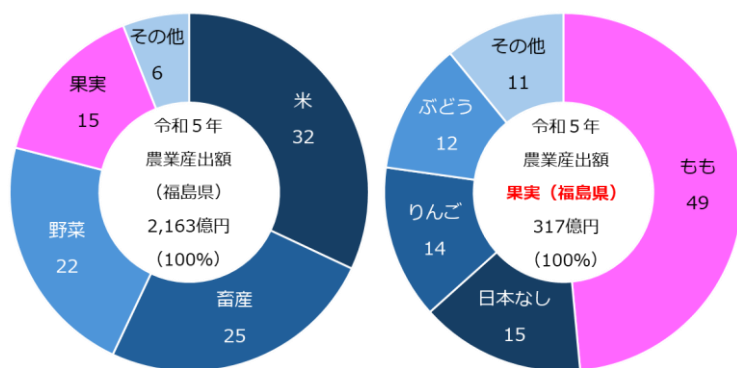
令和5年福島県の農業産出額2,163億円のうち、果実の農業産出額は317億円となっており、全体の15%を占めています。

また、ももの農業産出額は154億円で果実の約5割を占めています（図10）。

ももの農業産出額の推移をみると、福島県は平成22年の101億円から平成23年には販売価格が大きく低下し、55億円まで減少しました。その後、販売価格の上昇に伴い、増加傾向で推移し令和5年には154億円となり、平成22年の1.5倍となっています。

一方、山梨県は収穫量が減少する中、販売価格の上昇により令和3年には200億円を超え、令和5年には214億円となり、平成22年の1.2倍となっています（図11）。

図10 農業産出額に占める果実、果実に占めるももの割合
（福島県）



資料：農林水産省「農業産出額（全国）」をもとに東北農政局福島県拠点で作成（図10、11同じ）。

ももの令和5年市町村別農業産出額（推計）をみると、福島市が58億8,000万円、次いで伊達市が38億9,000万円、桑折町が23億1,000万円、国見町が22億2,000万円となっており、この4市町で、福島県のももの農業産出額154億円の約9割を占め、県北地区がももの主産地となっています（図12、13）。

また、ももの全国市町村別農業産出額のトップ10に福島市（2位）、伊達市（4位）、桑折町（8位）、国見町（9位）の4市町がランクインしています（図13）。

図11 ももの農業産出額の推移（福島県・山梨県）

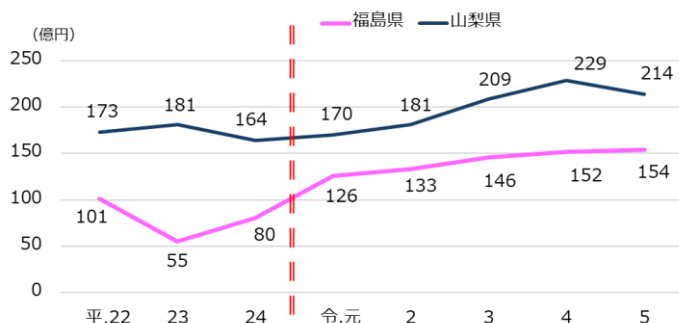
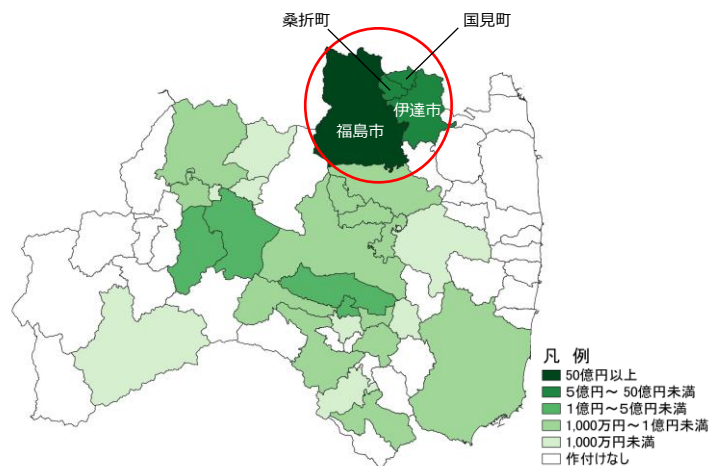
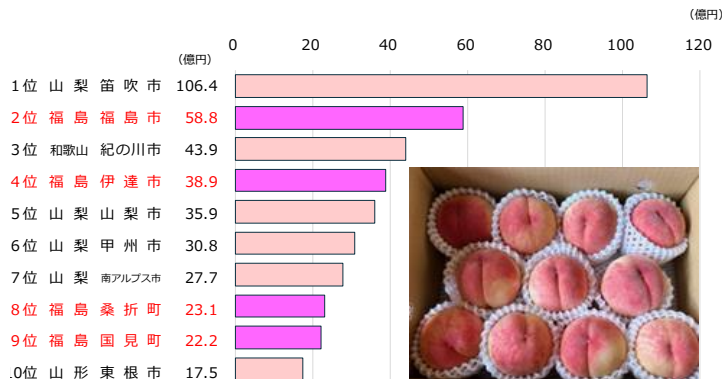


図12 ももの市町村別農業産出額（令和5年）

図13 ももの市町村別農業産出額
全国上位10市町村（令和5年）



資料：農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」をもとに東北農政局福島県拠点が作成（図12、13同じ）。



福島県拠点フォトレポートから「見える化」の取組事例

「まるせい果樹園」では果実の環境負荷低減に取り組んでいます（2025年7月）

有限会社まるせい果樹園（代表：佐藤 清一さん）では、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した持続的な生産活動を実践しており、GLOBALG.A.P.などのGAP認証を取得しています。

さらに化学肥料や農薬等の使用を抑えることで環境負荷低減にも力を入れており、もも、ぶとう（露地）、日本なし、りんごが環境負荷低減の「見える化」で星3つを取得しました。

ももの収穫がピークを迎える中、直売所では「みえるらべる」を貼付したももが販売され、来店されたお客様から「みえるらべる」について質問があれば丁寧に説明するなど、環境配慮の意識啓発に努めています。

営業部長の佐藤ゆきえさんは、「『みえるらべる』を貼付することで、生産者の環境負荷低減の努力が視覚的にわかりやすく消費者に伝わったことがたいへん良かった。」と話してくださいました。



直売所のポップ



「みえるらべる」を貼った商品



出荷を待つもも

福島県拠点「フォトレポート」は、こちらからご覧ください。
<https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/hukusima/index.html>

